

ぼいす通信

平成 28 年 9 月 発行

第 37 号

古賀市社会福祉協議会

ボランティアセンター発行



サマーボランティアスクール 2016 を開催しました!

今年は古賀中校区の小学校 3~6 年生を対象に実施し、多くの参加がありました!

1 回目



お仕事はそっと見守ってね!

2 回目



↑福岡盲導犬訓練センターへ見学に行きました。

3 回目



↑ネットワークこだまの会の皆さんとカレーを作りました。

4 回目



↑体験したことをまとめて新聞をつくりました。

料理をする時どんな工夫をしていますか?

盲導犬に関わるボランティアさんのことも学びました。

私達が普段使ってる物にもいろいろな工夫があったね!

カレーもおいしくできました!

スクールを通して考えた『私たちにできること』

- ★困っている様な人がいたら声をかける。
- ★声掛けは「大丈夫ですか?」「何かお手伝いすることはありませんか?」
- ★声をかけるときは後ろからではなく前から話しかける。
- ★スクールで学んだ事を身近にいる人に話をしてボランティアを広める。
- ★点字ブロックに自転車を置かない、物があったら移動させる。

お問合せ

古賀市社会福祉協議会 (TEL) 944-2941

平成 28 年度 ボランティア交流会開催

熊本地震の被災地「益城町災害ボランティアセンター」の支援報告を受け、改めて今の時代に必要なボランティアとは何かを問い返しながらこれからのボランティア活動について考えてみませんか？
この交流会を通して、多くの皆様と一緒に学び合う機会にしたいと思います。

場所 サンコスモ古賀 201・202 会議室
 日時 平成 28 年 11 月 9 日（水）10：00～12：00
 内容 ①災害ボランティアセンター運営支援報告 報告者：古賀市社会福祉協議会職員
 ②グループワーク
 定員 80 人（先着順）
 対象 社会福祉協議会登録ボランティア及び古賀市民
 締切 平成 28 年 11 月 2 日（水）
 問合せ・申込 古賀市社会福祉協議会 944-2941



誰もが住みやすいまちを目指して

社会福祉協議会では子どもから大人まで地域の様々な方に古賀市の福祉を知っていただくため、ボランティア団体や当事者団体と連携し、体験学習や交流活動を実施しています。学校のみでなく、子ども会育成会や老人クラブ、成人学級、女性学級等に向けてのメニューも準備していますので是非ご活用ください。

①高齢者のことを知ろう！	高齢者の運動能力を体験する疑似体験用具を使用し高齢者の気持ちを考えます。身近にいる高齢者に自分はどうのようなサポートができるか考えていきます。
②いつもと違う視点で歩いてみよう	車いすは体の不自由な方や高齢者のためだけではなく、怪我をした時に必要になる場合もあります。車いす体験や車いすを利用して生活している方と交流をすることで普段は気がつかなかった事に目を向けるきっかけをつくります。
③見えないを感じてみよう	アイマスクをつけて目の不自由な方の生活を体験します。どのようなところで困るのかを考え自分にできる手伝いや声のかけ方を考えます。
④障がいってなんだろう？	障がいと言っても聴覚障がい・視覚障がい・身体障がい・知的障がいなど 1 つではありません。外見では分かりにくい障がいもあります。当事者の方とのふれあいや交流を通し、相手を知り「自分にできる事」を考えていきます。



普段は使いにくいと思わなかった洗面台

【 訂正とお詫び 】

ぼいす通信 36 号の地域派遣ボランティア紹介のコーナーに誤りがありましたので下記のとおり訂正してお詫び申し上げます。

【誤】ハーモニクラブ“こすもす”の練習日 毎月第 2・4 の午後 → 【正】ハーモニクラブ“こすもす”の練習日 毎月第 2・4 の午前
 皆様にご迷惑をおかけしました事を謹んでお詫び申し上げます。

お問合せ

古賀市社会福祉協議会

〒811-3116 古賀市庄 205 番地

(TEL) 944-2941 (FAX) 944-2942